

京阪電気鉄道 宇治駅コンコース



所在地：京都府宇治市宇治乙方18番5号
 駅構造：地上駅
 延床面積：約1,230㎡
 乗降人数：約5,000人/日
 施主：京阪電気鉄道株
 照明改修工事：(株)京阪エンジニアリングサービス
 照明改修完成：平成24年3月

S176

京阪宇治駅は、宇治周辺への行楽路線として知られる京阪宇治線の終着駅。コンコースの照明リニューアルにあたりLED照明を採用し、大幅な省エネとメンテナンスコストの軽減を図っています。

1995年の移設から18年を経てコンコースの照明をLED照明にリニューアル

京阪宇治駅は、近隣に世界文化遺産の平等院、宇治上神社をはじめ多くの観光スポットがあり、こうした観光客を主として1日約5,000人の乗降客で賑わっています。現在の宇治駅は1995年に駅前再開発によって移設、新駅として設置されたもので、駅舎は「円」をモチーフにしたやわらかいデザインと、打ち放しコンクリート仕上げの力強さを合わせもち、1996年には私鉄の駅として初めてグッドデザイン賞を受賞。また2000年には「近畿の駅百選」に選ばれた、優れた造形の駅舎として広く知られています。駅舎の照明は築18年の経過による老朽化で、省エネに優れ、同時に長寿命によって大幅にメンテナンスが向上するLED照明に更新されました。

先進のLED照明の採用により活気ある環境と省エネ・省メンテを両立

既存の照明は高天井の中央階段上と2階コンコース、それに2階のエレベータ前にHF400W特注ボックス付高天井ダウンライトが配置されていました。今回の改修では、HF400Wと同等の明るさを消費電力150Wで実現するLED高天井器具に更新。埋込穴は同じ大きさなので、既存ボックスをそのまま活かすことができ、同位置に合計32台を採用しています。これにより、既存比消費電力63.8%の削減を可能にするとともに、60,000時間の長寿命によるメンテナンス費用も大幅に軽減しています。加えて初期照度補正制御とLEDの特性である瞬時点灯、瞬時再点灯を活かし、改札前、階段、エレベータ前をエリア別の点灯スイッチにしてこまめな点灯・消灯ができるようにし、さらなる省エネを図っています。

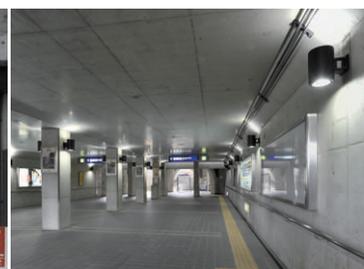
中央階段を下りると、駅前に出る1階コンコースが設けられています。この1階コンコースの照明は既存では中央の柱とその両サイドにある壁に対向でFDL27W×2上下配光形ブラケットが設けられていました。今回の更新では33.4WのLEDユニットフラット形ランプ交換可能形上下配光タイプのブラケットを採用。省エネしながら規則的な光と影が壁・柱・天井・床に生じる配光で、安全かつ効果的に誘導を高めています。



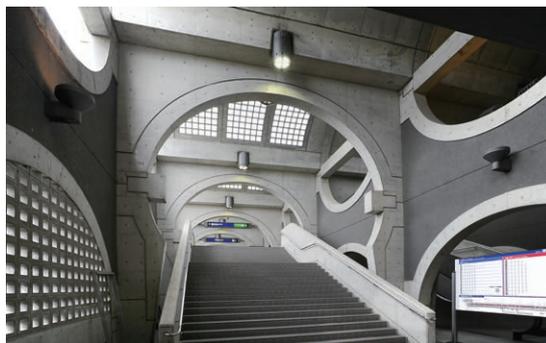
既存の照明ボックスに納められた2階コンコースの更新したLED高天井器具



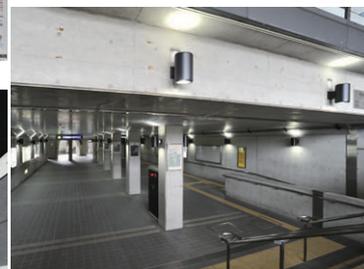
改札口周辺のLED高天井器具



1階コンコースのLEDユニットフラット形ブラケット



高天井の中央階段上部に設けたLED高天井器具



1階コンコース入口周辺のLEDブラケット



既存照明ボックスに納めたLED高天井器具 LEDユニットフラット形ブラケット

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
室内	LED高天井器具	LEDJ-10011W-DJ2	32	LED 消費電力:150W
	LEDブラケット ユニットフラット形	LEDB-12200 (K)	28	LED 消費電力:33.4W